

2025年3月18日

＜法人スポンサー連絡会＞ PM Award 2025 開催概要と ご応募のお誘い

一般社団法人PMI日本支部
PM Award 事務局

藤井 新吾（組織拡大委員会 AwardWG）



Project
Management
Institute.
Japan

本日のアジェンダ

1. PMI日本支部としての PM Award
2. PM Award 2025 の開催について
3. PM Award へのご応募のメリット
4. PM Award のこれまでの受賞者等
5. PM Award へのご応募のために

PMI日本支部としての PM Award

- ・2021年にスタートして、**2025年は第5回**。毎年開催のイベントとなり、なお成長を続けています。
- ・PMI日本支部会員からの参加者は年々増加していますが、日本のプロジェクトマネジメントの仲間づくりやステイタス向上の機会として、さらに活用していきたいと考えています。
- ・このため、**ぜひ皆さまのお力を貸していただけないでしょうか？**



数字で見る PM Award（ファイナリストセミナー及び投票参加者数）

毎年、**多数の方々にご参加**いただき、優れたプロジェクトへの**ご投票を実施**していただいています。

	2021（第1回）	2022（第2回）	2023（第3回）	2024（第4回）	2025（第5回）
ファイナリストセミナー 登録者数 ※今年はピッチに名称変更	1,400	1,400	1,621	1,720	1,900 更なる盛況を目指します
投票参加者数	983	997	1,202	S&M 1,174 L 1,165	1,300 更なる盛況を目指します

PM Award 2025 の開催について

2025/03/03 PRTIMES プレスリリースより

日本発の優れたプロジェクトを表彰する「PM Award 2025」を開催。応募受付は5月30日まで。

<http://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000021.000078755.html>



PMI日本支部は、2025年で第5回目となる「**PM Award 2025**」を開催します。2025年5月30日までにご応募されたプロジェクトから、選考委員会により選出されたファイナリストによりプレゼンテーションが行なわれ、その視聴者による投票で最優秀プロジェクトが選ばれます。

これまでの開催では、業種業態を問わず様々な素晴らしいプロジェクトにご応募いただいております。今回も多数の団体・企業の皆さまからのプロジェクトのご応募をお待ちしています。

PM Award 2025 の概要

《PM Award の目的》

PM Awardは、PMI日本支部が日本でプロジェクトマネジメントを推進する法人として、優れたプロジェクトマネジメントの実践例を表彰し公表することで、プロジェクトマネジメントの有用性を周知しその認知度を向上させることを目的としています。

《PM Award 2025 の概要》

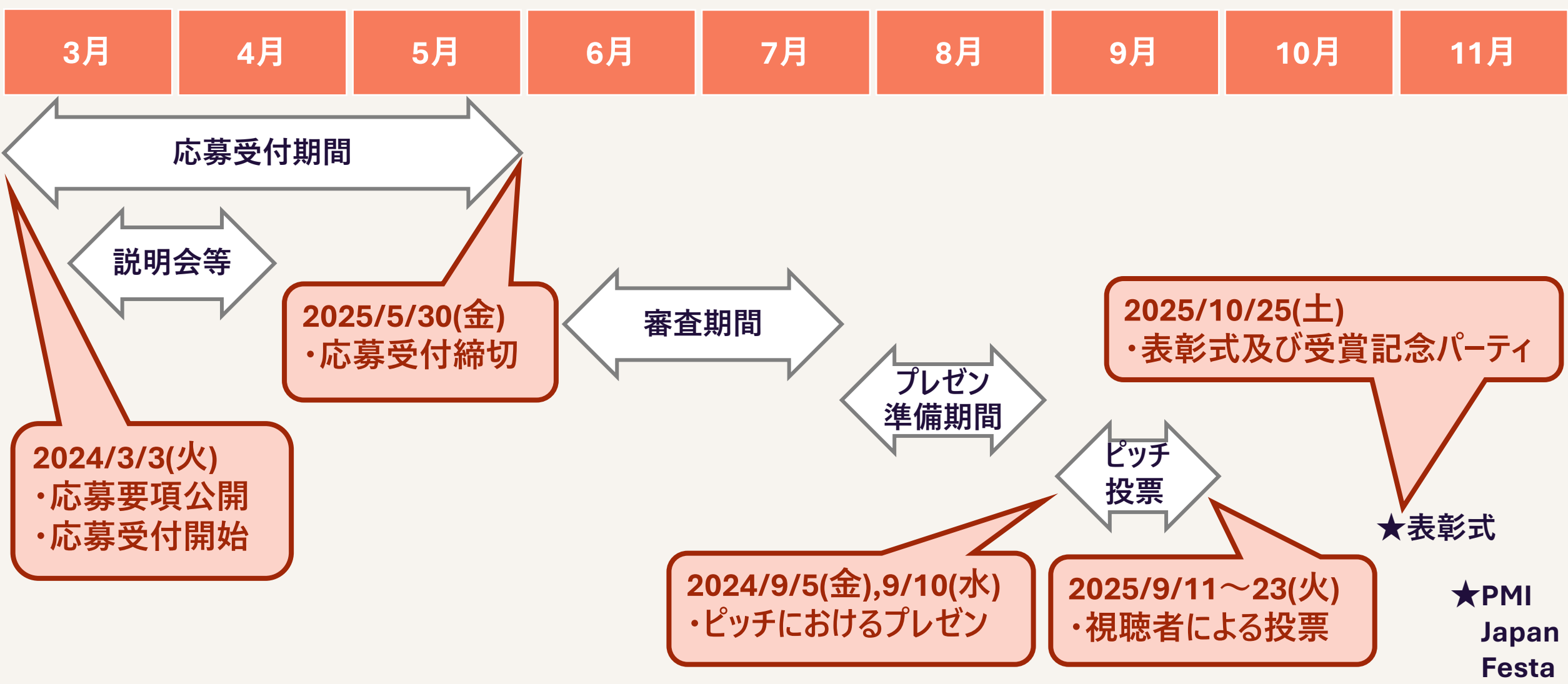
募集期間	2025年3月3日～5月30日
募集プロジェクト実施主体	日本のあらゆる実施主体（団体、企業、地方公共団体、NPO法人、地域コミュニティ、その他産官学問わず。複数組織によるものも可。）
募集プロジェクト	団体・企業等における個別組織、地域、グローバルでの各種課題への取り組みや社会や社会課題解決への貢献を目指した取り組みを行なっているプロジェクト
募集区分	(i) Large部門 (ii) Small & Medium部門
選考方法	・応募フォームと参考資料により、選考委員会を経てファイナリストを選出 ・ファイナリストによるピッチでのプレゼンテーションにより、視聴者投票で最優秀賞・優秀賞決定 ・特別賞、奨励賞は、協賛団体企業・選考委員会による選考により決定
応募方法	PM Award 2025の応募フォームに必要事項を記入し、必要に応じて参考情報を添付して応募。
詳細について	詳細については、PM Award Webサイト< https://pmij-award.net/ >でご確認ください。 ご応募の概要・要項、ご応募方法や最新情報については、同Webサイトでお知らせいたします。

PM Award 2025 の流れ

PM Award の応募～選考～表彰の流れは以下の通りです。



PM Award 2025 のスケジュール（予定）



まずご応募の際にご記入いただくものは3ページでシンプル

ご応募は シンプル！

応募プロジェクト情報 [1/3]

1.1 応募者氏名	
1.2 PMI会員ステータス	☐ PMI日本支部会員 ☐ PMI会員 ☐ どちらでもない
1.3 連絡先メールアドレス	
1.4 勤務先・所属組織	
1.5 役職名	

© 2025 PMI Japan Chapter | PMI-Japan

応募プロジェクト情報 [2/3]

2.1 プロジェクト名	
2.2 プロジェクト概要	

© 2025 PMI Japan Chapter

応募プロジェクト情報 [3/3]

3.1 応募区分	☐ (i) Large部門 ☐ (ii) Small&Medium部門		
3.2 プロジェクト実施主体名・プロジェクト体制			
3.3 添付参考資料等についての説明			
3.4 PM Award 2025の開催を知った機会	☐ ご所属の企業・団体内での周知 ☐ 加入しているPMI日本支部以外の団体からの周知 ☐ 自治体通信のWebサイトまたはメールマガジン ☐ Google, Yahoo等の検索サービス ☐ PM Award 2025のパンフレット ☐ PM AwardのWebサイト ☐ PM Awardの説明会 ☐ PM Awardのfacebook ☐ PM Award@x	☐ PMI日本支部のWebサイト ☐ PMI日本支部からのメール ☐ PMI日本支部のセミナー ☐ PMI日本支部の法人入会ササゲ ☐ PMI日本支部の法人入会ササゲ ☐ PMI日本支部の法人入会ササゲ ☐ PMI日本支部の法人入会ササゲ	☐ PR TIMES ☐ インターネット上の記事 ☐ 新聞雑誌記事 ☐ PMI日本支部会員の紹介 ☐ PMI日本支部会員の紹介 ☐ PMI日本支部会員の紹介 ☐ その他（具体的に記入）

© 2025 PMI Japan Chapter | PMI-Japan.ORG 5

今回は少し応募方法を見直しています。

シンプルな「一次応募フォーム」で応募
↓
一次選考で一次合格者選出・通知
↓
詳細は「詳細応募フォーム」の提出

PM Award に応募することによって得られる"可能性"があるメリット

(1) 多様な視点からの最優秀賞決定

PM専門家を含むセミナー視聴者1,000名超の投票結果により、民主的に最優秀賞が選出されます。

(2) 受賞実績の社内外アピール

全世界でプロジェクトマネジメントの普及啓発を行うPMIの支援を得た取り組みであり、優れたプロジェクトの証として活用できます。

(3) プロジェクトの振り返りと気付き

社外の不特定多数の方に向けたアピールを通じて、プロジェクトをあらためて振り返り、自らの強みの発見にも繋がられます。



PM Award におけるメディア取材等によるプレゼンス向上

「プロジェクト8件の成功理由を2時間で聞き出すことに挑戦」
日経クロステック
<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/00166/110500162/>

「成功した8件の事例から学ぶ プロジェクトマネジメントの鉄則」
日経クロステック
<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/mag/nc/18/020900021/103100176/>

「他者と対話、自分の中で思考、両方とも難めない」

- ・リハビリテーション分野に特化した生成AIソリューションの開発
- ・生和会グループMR&S SDX研究所 (DX推進部署) 所長 入門恭平
- ・最優秀プロジェクト賞 (Small and Medium部門)
- ・特別賞 (PMI Asia Pacific賞)

「他者と対話」の他者とはプロジェクトのステークホルダー（利害関係者）である。医療法人グループのトップ、現場で看護をする担当者、電子カルテのスタッフなどと、何度も話をした。「こうやることに決まったかや進めます、というやり方でうまくいかない。相手がどう思うか、相手の立場で考え、繰り返し話をしようにした」

とこころ話をした結果、プロジェクトの進め方や開発するシステムに修飾を加えることもあった。人から言われたかや直すのではなく自分でじっくり考えた上での決断になる。「常に自問自答することでリーダーとしての覚悟が固まり、それが周囲の人に伝わり、プロジェクトに良い影響を与える」



生和会グループMR&S SDX研究所(DX推進部署)の入門恭平所長
(写真：日経クロステック)

【画像のクリックで拡大表示】

「同じ船に乗る仲間を増やす」

- ・SOP (Seiho Open-Innovation Project) ～企業年金の制度管理事務における生保共通プラットフォームの開発～
- ・企業年金ビジネスサービス 情報システム部長 原真樹
- ・最優秀プロジェクト賞 (Large部門)
- ・特別賞 (情報サービス産業協会 デジタルトランスフォーメーション賞)

生命保険7社の企業年金制度管理事務を統合し、それを支える情報システムも一本化する。1行きただけでめんどくさく感じると感じるプロジェクトである。「スケールメリットを出して日本の生保のコスト競争力を高め、サービス品質も同時に追求する」というプロジェクトの理念を掲げ、参加各社が共有した。その上でプロジェクトマネジャーを務めた企業年金ビジネスサービスの原真樹情報システム部長は「同じ船に乗る仲間を増やす」ことを心がけ、素早く情報を共有できる人のネットワークをつくり、何でも言い合える関係を築いていった。

人のネットワークの対象はシステム開発チーム、共通システムを使う事務部門、さらに生保7社側でプロジェクトに参加したメンバー、各生保の営業部門まで広がったが「朝の会議で出た問題を夕方の会議までで解決し、共有できた」



企業年金ビジネスサービスの原真樹情報システム部長

(写真：日経クロステック)

【画像のクリックで拡大表示】

「地に足を付けて自らかかわる」

- ・無人販売レジBAITEN STANDによる地方小売課題解決モデルの開発
- ・AIBOD社長 松尾久人
- ・優秀プロジェクト賞 (Small and Medium部門)
- ・特別賞 (パーソナル総研 well-being賞)

AIBODは九州大学から生まれたベンチャーでAI（人工知能）のモデルをつくり、データを分析する技術を持つ。カメラで商品を撮影、AIで認識し、決済ができる無人店舗の仕組みを開発している。松尾久人社長が復興庁の人と知り合い、福島県の復興プログラムに応募して採択された。

「技術を大事にしたが、どれほど良い技術でも現場ですぐ使ってもらえないわけではない。現場の顧客や利用者を受け入れてもらうことが一番大事。そのためにとにかく現場に行く」。この2年半、毎月の半分以上、福島に行き、現場の声を聞きつつ、無人店舗のプロジェクトを陣頭指揮した。



AIBODの松尾久人社長

(写真：日経クロステック)

【画像のクリックで拡大表示】

8件は「PM Award 2024」で表彰された。主催者のPM推進団体、PMI日本支部は2024年10月19日、受賞8件を発表した（表参照）。内容、規模、場所など多岐にわたるが「大事にしたこと」は重なり合う。

表「PM Award 2024」の受賞者一覧

規模、場所、営利・非営利、プロジェクトは多様化している（出所：一般社団法人PMI日本支部）

プロジェクト名	プロジェクト実施主体	受賞内容
リハビリテーション分野に特化した生成AIソリューションの開発	医療法人生和会グループ MR&S 株式会社SDX 研究所、株式会社Pleap、医療法人せいの会 福岡リハビリテーション病院、医療法人せいの会 川崎リハビリテーション病院	・最優秀プロジェクト賞 (Small and Medium部門) ・特別賞 (PMI Asia Pacific賞)
SOP (Seiho Open-Innovation Project) ～企業年金の制度管理事務における生保共通プラットフォームの開発～	企業年金ビジネスサービス株式会社 (Corporate Pension Business Service: CPBS)	・最優秀プロジェクト賞 (Large部門) ・特別賞 (情報サービス産業協会 デジタルトランスフォーメーション賞)
インドの子供たちへ音楽を届ける「Japan-India Harmony Festival」プロジェクト	Japan-India Harmony Festival	・優秀プロジェクト賞 (Small and Medium部門)
無人販売レジBAITEN STANDによる地方小売課題解決モデルの開発	株式会社AIBOD	・優秀プロジェクト賞 (Small and Medium部門) ・特別賞 (パーソナル総研 well-being賞)
PROJECT ATAMI	PROJECT ATAMI実行委員会	・優秀プロジェクト賞 (Small and Medium部門) ・特別賞 (岡山大学 SDGsイノベーション賞)
消費者はUXデザインから生まれる？人生の大切なことをゲームから学ぶ	公益財団法人日本デザイン復興会、株式会社たきこーポレーション	・優秀プロジェクト賞 (Large部門) ・特別賞 (ITI イノベーション賞)
グローバル品質マネジメントシステムの改革プロジェクト	株式会社NTTデータグループ	・優秀プロジェクト賞 (Large部門)
TOYOTA × KINTO Unlimited Connected Drive Trainer (CDT) アプリ開発	トヨタ自動車株式会社、KINTO テクノロジーズ株式会社	・優秀プロジェクト賞 (Large部門) ・特別賞 (MPCP 最優秀賞)

【画像のクリックで拡大表示】

人を引き付ける理想を掲げる

鉄則の第1は「そういうことを目指すのか」と共感してもらえる理想を掲げることである。Japan-India Harmony Festivalの目標は「インドの子供たちへ音楽を届け、子供たちの未来をより広げる」と明快である。第一弾として、日本の金管五重奏団がインドの学校を訪れ、子供向けに演奏会を開いた。

PM Award 2024 表彰式 及び 受賞記念パーティー

PM Award 2024では、2024/10/19(土)に表彰式 及び 受賞記念パーティーを開催し、ご臨席いただいた皆さまで受賞者を称えとともに、参加された皆さままでの交流を行なっていただきました。



PM Award 2024：受賞の方々 / Winner and Finalists

最優秀プロジェクト賞（Large部門）

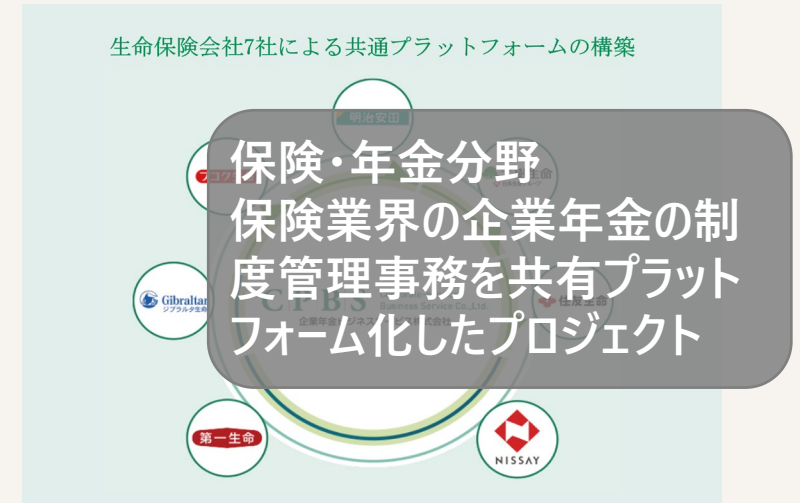
特別賞（情報サービス産業協会 デジタルトランスフォーメーション賞）

プロジェクト名：SOP（Seiho Open-Innovation Project）

～企業年金の制度管理事務における生保共通プラットフォームの構築～

プロジェクト実施主体：企業年金ビジネスサービス株式会社

（Corporate-pension Business Service：CPBS）



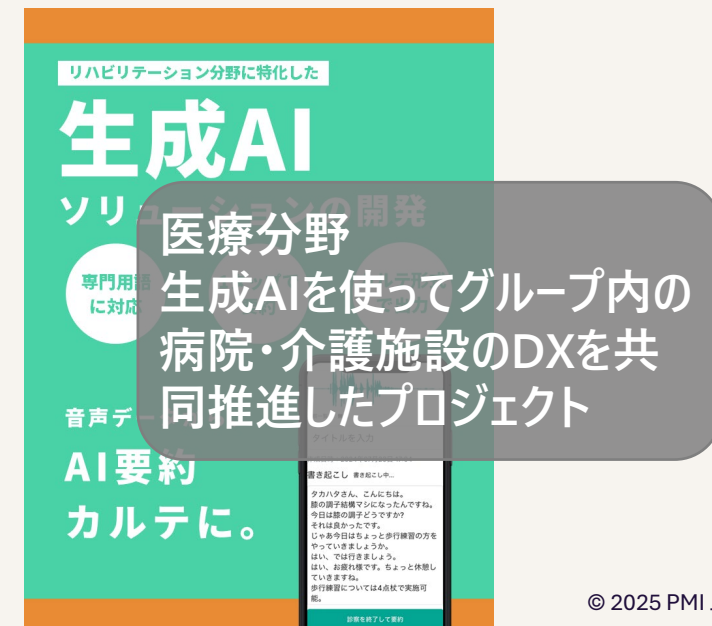
最優秀プロジェクト賞（Small & Medium部門）

特別賞（PMI Asia Pacific賞）

プロジェクト名：リハビリテーション分野に特化した

生成AIソリューションの開発

プロジェクト実施主体：医療法人生和会グループ MR&S有限会社
SDX研究所、株式会社Pleap、医療法人せいわ会 彩都リハビリテーション病院、医療法人せいふう会 川西リハビリテーション病院



PM Award 2024：受賞の方々 / Winner and Finalists (続き)

優秀プロジェクト賞 (Small & Medium部門)
プロジェクト名：インドの子供たちへ音楽を届ける
「Japan-India Harmony Festival」プロジェクト
プロジェクト実施主体：Japan-India Harmony Festival



社会貢献
音楽の教育の機会に恵まれない国の子供に対して、音楽を届けるプロジェクト

優秀プロジェクト賞 (Small & Medium部門)
特別賞 (パーソル総研 well-being賞)
プロジェクト名：無人販売レジBAITEN STANDによる
地方小売課題解決モデルの構築
プロジェクト実施主体：株式会社AIBOD



地域・小売分野
無人販売レジを活用して、
地方の小売り課題の解決を図るプロジェクト

優秀プロジェクト賞 (Small & Medium部門)
特別賞 (岡山大学 SDGsイノベーション賞)
プロジェクト名：PROJECT ATAMI
プロジェクト実施主体：PROJECT ATAMI 実行委員会



地域・観光分野
街をアートで活性化させて、
新たな進化を遂げさせていく
プロジェクト

PM Award 2024：受賞の方々 / Winner and Finalists （続き）

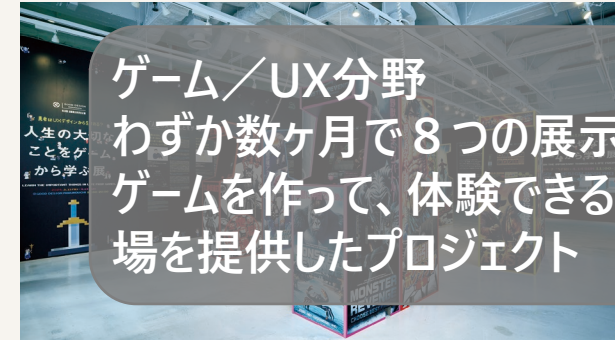
優秀プロジェクト賞（Large部門）

特別賞（ITI イノベーション賞）

プロジェクト名：勇者はUXデザインから生まれる？

人生の大切なことをゲームから学ぶ展

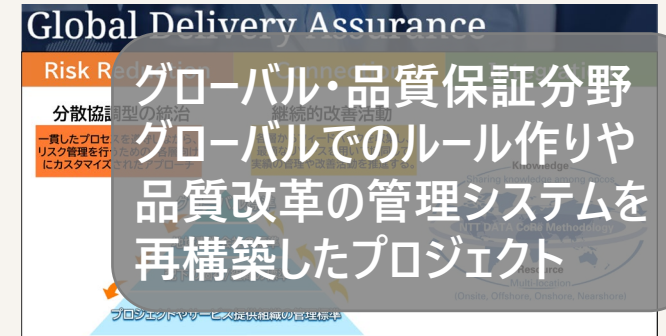
プロジェクト実施主体：公益財団法人日本デザイン振興会、株式会社たきコーポレーション



優秀プロジェクト賞（Large部門）

プロジェクト名：グローバル品質マネジメントシステムの改革プロジェクト

プロジェクト実施主体：株式会社NTTデータグループ



優秀プロジェクト賞（Large部門）

特別賞（MCPC 最優秀賞）

プロジェクト名：TOYOTA x KINTO Unlimited

Connected Drive Trainer（CDT）アプリ開発

プロジェクト実施主体：トヨタ自動車株式会社、KINTOテクノロジーズ株式会社



PM Award 2023：受賞の方々 / Winner and Finalists

最優秀プロジェクト賞(Large部門)

まちなか社員食堂 GoSmart
株式会社ネオマルス



最優秀プロジェクト賞(Small and Medium部門)

カーボンフットプリント可視化プロジェクト
「じぶんごとプラネット」
一般社団法人コード・フォー・ジャパン



優秀プロジェクト賞(Large部門)

DXによる生活者との接点創出(ADaaS)
アジャイルライトプロジェクト
アフラック生命保険株式会社



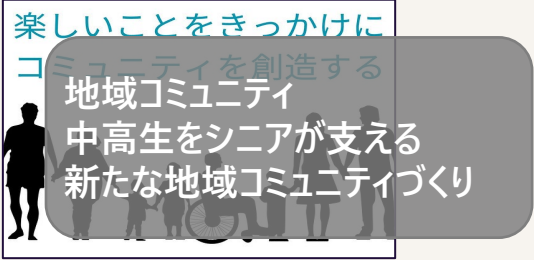
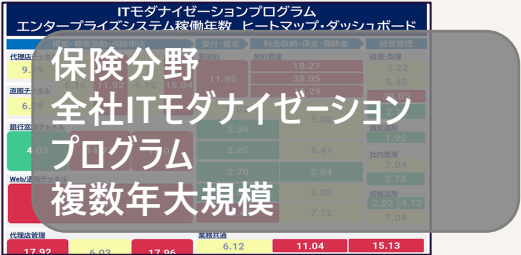
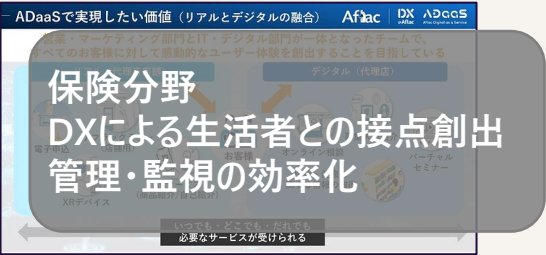
優秀プロジェクト賞(Large部門)
JISAデジタルトランスフォーメーション(DX)賞

ITモダナイゼーションプログラム
オリックス生命保険株式会社



優秀プロジェクト賞(Small and Medium部門)
岡山大学SDGsイノベーション賞

文京思い出横丁in傳通院
文京思い出横丁実行委員会
NPO法人文京BASE



PM Award 2022：受賞の方々 / Winner and Finalists

COVID-19に対する新規経口抗ウイルス薬『パキロビッド®バック』の研究開発プロジェクト
ファイザー株式会社/ファイザーR&D合同会社

医療分野
COVID-19治療薬
国の特例承認獲得

最優秀プロジェクト賞

優秀プロジェクト賞

海外貿易プラットフォームとの連携による貿易手続円滑化プロジェクト
株式会社トレードワルツ

貿易分野
紙の電子化
貿易業務の効率化

未来の貿易は、
44%以上効率化

NDTP

PMI アジアパシフィック賞

建物OS「DX-Core」プロジェクト
清水建設株式会社

建設分野
ビルのDXプラットフォーム
ビル機能の適時更新

JUASデジタルトランスフォーメーション (DX) 賞

リーンスタートアップアジャイルにより
日本金融機関のETF取引デジタル化を目指すプラットフォーム
株式会社東京証券取引所、富士通株式会社

金融商品取引分野
リーンスタートアップアジャイル
一体的な体制での運営

JISAデジタルトランスフォーメーション (DX) 賞

NISSAY IT アカデミー賞

AIによる街の幸福度向上と可視化プロジェクト
一般社団法人One Smile Foundation

社会貢献
笑顔寄付に変える
顔認識と稀有なビジネスモデル

パーソル総研 well-being賞

inochiのペイフォワード
inochi WAKAZO Project

医療分野
献血以外のバイタルデータ
予防医療等への展開期待

岡山大学 SDGsイノベーション賞

PM Award 2021：受賞の方々 / Winner and Finalists

AI画像診断技術によるインドで10万人に
結核診断アクセスを支援する社会貢献プロジェクト
株式会社NTTデータ

医療分野
AI画像診断
結核対策

最優秀プロジェクト賞
岡山大学 SDGsイノベーション賞

Kyoto City Official Travel Guide リニューアルプロジェクト
公益社団法人京都市観光協会、株式会社ロフトワーク

観光分野
文化に着目した顧客ター
ゲット
コンテンツや更新の工夫

NTTデータユニバーシティ クリエイティブデザイン賞

グローバル拠点のプロジェクトマネジメントITツール標準化
日本電気株式会社(NEC)グローバル品質推進本部/サプライチェーン統括本部

IT分野
グローバルでの標準化
各国拠点が主体的に参画

PMI アジアパシフィック賞

学習用ICTプラットフォーム 株式会社Lentrance

教育分野
教育の情報化
新型コロナ禍での新たな教
育の形

NISSAY ITアカデミー賞

生産者と消費者をつなぐ産直アプリ「ポケットマルシェ」株式会社ポケットマルシェ

流通分野
都市と地方をかき混ぜる
食材で生産者・消費者を
繋ぐ

JUASデジタルトランスフォーメーション (DX) 賞

CallViewプロジェクトオリックス生命保険株式会社

保険分野
顧客対応業務の刷新
多端末・多APの統合

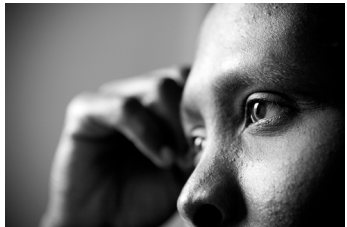
ITの活用による
品質向上・効率化

パーソル総研 well-being賞

PM Award で応募できるプロジェクトとは？ 留意点は？？



どのような分野のプロジェクトでもOK！
2025年度も、2部門(Large、Small & Medium)での募集



4 つの観点を端的にまとめてアピール！

- (1) プロジェクトマネジメントの工夫
- (2) 新規性・独自性
- (3) 組織的なアジリティ・価値の向上
- (4) 社会や社会課題解決への貢献



お早目の関係者とのご相談を

- (1) 社内のプロジェクト責任者・関係者
- (2) 社外の関係者
- (3) 社内の広報窓口ご担当

PM Award で応募できるプロジェクトとは？ 留意点は？？（続き）

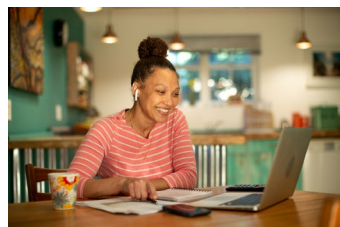


「応募フォーム」＋ 関連資料 でのアピールが肝心

ファイナリストに選ばれるには、選考委員の皆さまには、簡潔かつ正しくプロジェクトを理解していただく必要があります。

このため、応募要項を早目にご確認のうえ、応募フォーム及び関連資料の記入事項や提出資料の検討を進めていくことをお勧めします。

選考委員の理解をPM Award 事務局が支援します。



ファイナリストになったら、プレゼンで勝負

ピッチ向けの準備はファイナリストになってから1か月とちょっと。優れたプロジェクト・プロジェクトマネジメント内容と共感を生み出すプレゼンテーションを期待しています。



現在のところ、PM Awardが対象とするプロジェクトは、PMI、PMI日本支部としての活動以外のものです。

まとめ – 本日本日お伝えしたいこと（皆さまへのお願い事項）



✓ 皆さまの所属団体・企業でのプロジェクトの
PM Award へのご応募をご検討ください！

（広報ご担当者をご紹介いただければ、PM Award 事務局からご案内ができます！）

（その後の、PMI主催のPMI Awardsへのご応募、も期待しております）



✓ PM Awardのことを、
お友達、
仕事上の同僚・お知り合い、
にもご紹介をお願いいたします！

PM Award Web サイト (<https://www.pmij-award.net/>)





✓ 皆さまの会社さま、お知り合いからのご応募を
心よりお待ちしております。

PM Award 2024 説明会

1回目：3月12日（水）16：00～17：00

2回目：3月19日（水）17：00～18：00

3回目：3月27日（木）17：00～18：00

3月に3回、説明会を実施中
（これから開催の回もあり）

参加申し込みはこちらから。<https://pmi-japan.eventos.tokyo/web/portal/426/event/13142>



PM Award Webサイト：<https://pmij-award.net/>

PM Awardに関するお問合せはPM Award 事務局：award@pmi-japan.net まで